

## 2025年度第1回血液検査機器技術委員会次第

1. 日時：2025年4月19日（土） 14時45分～16時00分
2. 場所：弘前市民文化交流館 3F 多世代交流室
3. 出席者（敬称略）  
現地：金子、井上、増田、新保、大川  
Zoom：下村、稲葉、朝比奈、常名、菅原、内藤、今田、中西、松田、山口、林、小野、鈴木、池田、奥野、長濱、檜木、石井、中山、黒川、藤岡、大泉
4. 欠席者（敬称略）  
高橋、徳永、四ノ宮
5. 議題
  - 1) 報告事項
    - (1) 委員長の交代  
新保 敬委員→金子 誠委員  
副委員長兼事務局長は下村 大樹委員、事務局補佐は井上 まどか委員が継続する。
    - (2) 新任委員の紹介  
山口 悠樹委員（株式会社エスアールエル）
    - (3) 委員交代  
理事会承認済：遠見 真理委員→石井 葵委員  
(積水メディカル株式会社)  
交代予定：鈴木 浩一委員  
(ロシュ・ダイアグノスティック株式会社)  
退任：田中 秀明委員（H.U. フロンティア株式会社）
    - (4) 学会誌「医療検査と自動化」50巻2号「学術委員会の2025年度活動予定」の掲載
    - (5) 学会HPへの第14回血液検査機器技術セミナーテキストの掲載
    - (6) 2024年度第2回血液検査機器技術委員会議事録確認
  - 2) 審議事項
    - (1) 第15回血液検査機器技術セミナーについて
      - ① テーマ：「凝固測定装置の特徴と凝固検査の実運用」
      - ② 担当：金子委員、井上委員
      - ③ 内容：120分を想定して構成  
✓ イントロ（2分）

- ✓ 各社の血液凝固測定装置と APTT 試薬の特長 (78 分)  
発表 10 分+質疑応答 3 分 (計 13 分) ×6 社
  1. アイ・エル・ジャパン : ACL TOP
  2. A&T : CG02N
  3. シスメックス : CN シリーズ
  4. 積水メディカル : S400CF
  5. PHC : STACIA CN10
  6. ロシュ : cobas t 711
- ✓ 凝固検査の実運用 (30 分)
  1. 凝固検査の再検基準 (15 分) : 井上委員  
各施設の現状をアンケート集計し、これらを総括する。  
アンケート案、依頼書案を作成  
修正等なければ、事務局より会員宛にメール配信を依頼したい。
  2. 凝固検査のこれからの将来 (15 分) : 松田委員
    - ・凝固検査検体取り扱いコンセンサス
    - ・外注検査検体の取り扱い
    - ・APTT 検査の課題についての総括

→セミナーの時間が 90 分となったことから、どのように行うかについて審議したい。(金子委員長)

→委員からの活発な議論の上、時間を短縮するには、各社がそれぞれ話すのではなく、凝固検査の実運用の中で各社の血液凝固測定装置についても触れるという形をとる方向性とするこゝでまとまった。

ただし、例年からのかなりの時間短縮となっていることから、本日の委員長会議にて時間の延長の可否について確認し、場合によっては、再度委員会への相談とすることとなった。

## (2) 第 16 回血液検査機器技術セミナーについて

- ① テーマ : 「品質保証 (精度管理) について」
- ② 担 当 : 高橋委員、内藤委員
- ③ 内 容 : ISO 15189 : 2022 の要求事項を満たす品質保証について、各施設での実運用からは是正の方法までを紹介
  1. 自動血球計数機の品質保証  
→岩手医科大学附属病院 千葉拓也氏
  2. 血液像の品質保証  
→金沢医科大学附属病院 大川委員

3. 凝固機器の品質保証

→横浜立大学附属病院 矢島智志氏

4. ISO 15189 : 2022 要求事項について

→日本適合性協会 JAB 執行役員 LAB 認定ユニット長  
下田雄二先生又は臨床検査担当スタッフ

(JAB に要請済)

→内藤委員より演者は依頼済み。セミナーの時間が決定すれば、講演時間を決めていく予定で進めているとの報告があった。

(3) 第 17 回血液検査機器技術セミナーについて

① テーマ :

② 担当 :

→テーマの案として、これまで血液検査機器技術セミナーで取り上げたことのない「血小板凝集能検査」があがったが、まだ先の予定のため、テーマについては継続審議とすることとなった。担当については、中西委員、今田委員にお願いすることとなった。

(4) 学会雑誌の補冊発刊について

① 発刊予定 1 (2025 年目標)

タイトル : 「血液検査に役立つ自動血球計数装置の基礎知識と  
再検方法及び症例解析」

内 容 : 2020 年、2021 年、2023 年のセミナーの内容をまとめる。

担 当 : 新保委員、井上委員、常名委員、メーカー委員、今田委員  
はじめ 2023 年の血液検査機器技術セミナー演者

タイムスケジュールを確認、ひな形作成し、共有する。

→締め切りを 10 月くらいの予定とし、5 月中くらいには、各演者に依頼できるように進める。補刷は、白黒になってしまうため、カラーである必要がある部分については、ホームページに掲載のセミナーのテキストを参照してもらう方向性とする。装置については、2020 年現在の機種で掲載を予定する。

② 発刊予定 2 (2027・2028 年頃目標)

タイトル : 「血液凝固検査に役立つ自動分析装置の基礎知識と  
再検方法及びクロスミキシングテストの参考書」

内 容 : 2022 年、2025 年のセミナー内容をまとめる。

担 当 : 新保委員、下村委員、菅原委員はじめ 2022 年セミナー演者、金子委員、井上委員はじめ 2025 年のセミナー演者

→クロスミキシングの参考書は別にするという案が出ており、今回はその方向性で進める。札幌保健医療大学の家子正裕先生に全体的な監修又は共著者となっていただくことを依頼する必要があるとの意見があり、どのような形をとることができるかを確認し、進めていくこととなった。発刊の時期については、日本血栓止血学会での動きを鑑みて2027年度を目標に進めることとなった。

### 3) その他

#### (1) 血液検査機器技術委員会 HP の更新予定

- ・2025年度の活動予定
- ・委員リスト

#### (2) 委員の新任・交代・退任の手続きについての確認

委員の就任及び退任についての規定は、血液検査機器技術委員会内規に記載がある。(内規は学会 HP のホーム→委員会→血液検査機器技術委員会に掲載されている。)

それを踏まえ、新任・交代・退任となった場合、委員長から理事長へ「委員変更承認依頼」を提出する必要がある。

「委員変更承認依頼」の書式は、学会 HP 上（ホーム→会員の皆様へ→各種書類手続き）に掲載されているので、そちらを使用する。

(<https://jcls.or.jp/member/member02/>)

→今後、新任・交代・退任が生じる場合の手続きについて、委員長への相談、委員会内での手続き、その後の学会事務局、理事会までの流れ、注意点について共有した。

#### (3) 第72回日本臨床検査医学会学術集会共催企画について

今回、増田委員が企画担当の依頼を受け、以下のようにしたとの報告があった。

テーマ：「血算・凝固検査のパニック値への対応」

座長：増田委員、常名委員

演者：井上委員、下村委員、朝比奈委員、金子委員長